

第17回

In vivo実験医学シンポジウム

感染症研究が拓く

革新の未来

11月26日(木) シンポジウム 13:30~16:50
情報交換会 17:00~18:00

日本橋ライフサイエンスハブ

8階 会議室

東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング

オーガナイザー 河岡 義裕



東京大学 新世代感染症センター 機構長・特任教授 /
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター長

講演者・タイトル(順不同・五十音順)

「mRNAを基盤とした感染症に対する
次世代ワクチン・医薬品の開発」

内田 智士

東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所
先端ナノ医工学分野 教授

「高病原性鳥インフルエンザウイルスの変貌と備え」

河岡 義裕

東京大学 新世代感染症センター 機構長・特任教授 /
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター
国際ウイルス感染症研究センター長

「ネクストパンデミックに備える臨床現場からの
トランスレーショナルリサーチ」

南宮 湖

慶應義塾大学 医学部 感染症学教室 教授

「動物モデルを用いたオロプーシェ熱の病態解析」

安田 二郎

長崎大学高度感染症研究センター 教授

「未知ウイルス探索から紐解く
コロナウイルスの多様性と進化」

渡辺 登喜子

大阪大学 微生物病研究所 教授

参加費: **無料** 定員: **120名** 事前申込制、先着順

申込: 10月5日 10時から



主催 公益財団法人 実中研 In vivo実験医学シンポジウム事務局

〒210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-12

TEL: 044-201-8516

Mail: symposium@ciem.or.jp